

## 地域連携ネットワーク構築支援事業 予備調査 みやぎ建設総合センター

### ① 建設業人材確保育成に関する協議会の設置調査

宮城県内の各建設業団体(総合工事業・専門工事業)が現有する人材確保育成組織を調査し連携の方策を提案する。

### ② 建設訓練施設の現状調査および活用方策の検討

既存訓練施設(国・県・市町村・ポリテクセンター・職業訓練校)の現在の訓練内容の調査と新たな活用方策の検討。

### ③ 東北地方ブロックでの協議会の連携と訓練施設の相互活用の検討

(事務委託 東北建協連)

東北各県に協議会を設置し連携するための方策と各県の訓練施設が補完しあい効率的な訓練を行うためのケーススタディを行う。また、富士教育訓練センターの活用の課題等を検討。

### ④ 担い手確保・育成の広報活動の方策を検討 (事務委託 東北建協連)

教育機関および一般市民に対して建設業が取り組んでいる技術者・技能者の訓練・教育や処遇改善およびキャリアパスなどを広報する方策を検討。

# 地域連携ネットワーク構築事業

みやぎ建設総合センター  
宮建協 東北建設業  
協会連合会

## 宮城県内

- 職業訓練校の現状調査
- 既存施設の活用検討
  - ・ポリテクセンター宮城  
(型枠、鉄筋の実習)
  - ・東北技術事務所  
(コンクリート施工、情報化  
施工、構造物補修技術)
  - ・建災防宮城県支部  
(重機講習、安全教育)
  - ・センター  
(座学、CAD研修)

訓練生派遣の課題等

## 東北6県 各県内

- 職業訓練校の現状調査
- 各県既存施設の活用検討
- 各県建設業人材育成組織  
の現状調査

富士教育訓練センター

## 東北6県 人材育成協議会設 置の検討

- 既存組織の活用
- 検討課題の抽出

講師、材料、カリキュラム提供  
での実習実施課題等

## 教育機関との連携

- 工業高校での実習
- 高校普通科での建設技能  
の紹介・実習の検討

建設業及び建設技能のPR方策検討

一般向け、高校生向け

# 人材育成協議会・会議（宮城）

- 宮建協 建設産業人材確保・育成推進協議会
- センター クラフトマン21（宮城県教育庁）

技能者育成  
教育機関との連携

- 宮建協 人材協 教育訓練部会  
or  
• センター 新規協議会

宮建協・宮城建産連・宮城建団連・センター  
東北建協連、宮城県土木部、東北整備局、  
宮城県教育庁、ポリテクセンター宮城

技能者：	訓練職種、カリキュラム、講師、教材、生産性向上
技術者：	現場技術の継承、CIM・維持管理技術への対応
高校生：	実技授業、インターンシップ、技能検定

# 人材育成協議会・会議（東北）

- 東北建協連  
建設産業人材確保・育成推進協議会

教育機関との連携  
訓練・研修技法を共有

・教育訓練部会

東北建協連、東北6県建設業協会、センター  
東北整備局、工業系大学

	先行事例を東北6県に展開 東北技術事務所の活用 大学生への技術・技能研修 大学での建設情報化教育を活用

# 訓練施設の現状について(宮城)

## 民間認定職業訓練校

これまで木造建築科など建設技能者育成を担ってきたが、各訓練校とも入校者の減少で運営が厳しく、躯体系の新たな学科を設置するのは難しい。



## 公的施設を中心に検討

### ポリテクセンター宮城

研修実施は十分可能。セミナー形式または実習棟を貸出しすることが可能。屋外でも実習は可能。現在、住宅建築工事科では型枠・鉄筋の技能研修を組み込んでいる。

### 東北技術事務所

コンクリート施工、情報化施工研修が可能、構造物の維持管理技術研修を検討中

### 建設業災害防止協会 宮城県支部

安全教育、建設重機技能実習、玉掛け実習等を想定

### みやぎ建設総合センター

CIM対応の技術者・技能者研修を検討しているが、3次元CADが高額であることが課題

# 訓練施設の現状について(東北)

東北各県の技能訓練施設も木造建築の訓練が多く、躯体系の訓練科はない。各県での相互補完性がない。

東北に建設技能訓練校を設置することを検討

新たな施設を作るのは時間・経費の面で实际的ではない。

富士教育訓練センターの全面的な活用を検討

移動時間、予算、日程調整などネック。技能実習の講師派遣は難しいとの回答

既存のポリテクセンターや東北技術事務所などを活用するのが望ましい。

# 訓練内容について(技能者)

## 躯体系技能訓練

### ・講師

専門工事業団体所属企業の技能者、ポリテクセンターの内部講師、東北技術事務所職員、建災防講師などを想定

### ・カリキュラム

ポリテクセンターの既存カリキュラムやその他の事例を基に作成を検討

### ・教材

ポリテクセンター教材や既存技能訓練教材をベースに作成を検討

### ・訓練対象者

入職希望者、1～3年目、3年目～5年目の技能者を想定

建設技能生産性向上の研究と成果の訓練カリキュラム化

# 訓練内容について(技術者)

## 若手技術者の育成

### ・現場技術の継承

従来、現場でOJTとして継承してきた技術やノウハウを洗い出し  
若手技術者に伝える研修を行う

### ・高度情報化への対応

情報化施工やBIM、CIMに対応するための研修カリキュラムの検討

### ・維持管理技術への対応

コンクリート補修など維持管理技術の訓練を検討

若手技術者の育成もコンソーシアムで検討することが望ましい



# 専門高校における技能教育（機械・電気系と建設系）

電気・電子・機械

技能検定

コンテスト

高校ごとに得点  
ジュニアマイスター

就職に有利

企業誘致に有利  
就職先拡大

建設系

授業内容は技術者養成を志向

技能検定

コンテスト

技能士（建築大工）  
測量士補  
建築CAD  
土木施工管理検定

木材加工  
測量

就職に結び  
つかない

# 専門高校との意見交換(要望・提案)

建設系検定

助成の方策を検討  
就職採用に反映

技能実技授業

ものづくりマイスター制度の活用  
(鉄筋、型枠など)

技能者キャリアの例示

1年目

2~3年目

4~5年目

期待される技能レベル、資格取得、待遇面など

建設工事の全体を動画教材で理解

DVDの作成はできるか？

専門高校だけでなく普通高校や中学・小学校への展開

# まとめ

人材育成協議会(宮城)

人材育成協議会(東北)

- ・技能者、技術者の育成方策検討
- ・建設技能者・技術者確保のための広報活動
- ・教育関係者・訓練施設との連携強化

ポリテクセンター

東北技術事務所 など

- ・躯体系技能者の育成
- ・現場技術の継承
- ・高度情報化に対応するための研修
- ・維持管理技術の研修

専門高校  
普通高校  
小・中学校

- ・技能・技術検定の助成および就職への反映
- ・実技授業での「ものづくりマイスター制度」  
(鉄筋・型枠)活用
- ・技能者のキャリアパス例示
- ・建設工事全体の動画教材